

オープンソースソフトウェアとAIで未来を創る！

個人投資家様向け会社説明会

2026年2月24日

サイオス株式会社
証券コード 3744



本日のお題

1.会社紹介

2.成長を支える源泉・製品紹介

3.2025年業績・2026年業績予想

4.中期経営計画について（数値目標）

5.最後に

サイオス株式会社とは

「オープンソースソフトウェア（OSS）」と 「AI」技術で企業のITを支える企業



従来の商用ソフトウェアとは全く異なる開発方法で作られたソフトウェア

- ソフトウェアの設計図にあたるソースコードが公開されている
- 誰でも改良が可能
- 誰にでも共有が可能

オープンで**自由な発想**から生まれる**革新的な技術**

サイオスの生い立ち | 不可能を可能に

創業当時
90年代後半

「オープンソースソフトウェアを
ビジネスで使うなんてありえない」

オープンソースソフトウェアの可能性を信じ
ビジネス利用に**挑戦**
先駆者として時代を牽引してきた

「オープンソースソフトウェアはあらゆる所で利用されている」

○オープンソースソフトウェアのOS※であるLinuxは
世界で最も利用されているOS

現在

■ GoogleスマートフォンのOSであるAndroidもLinux

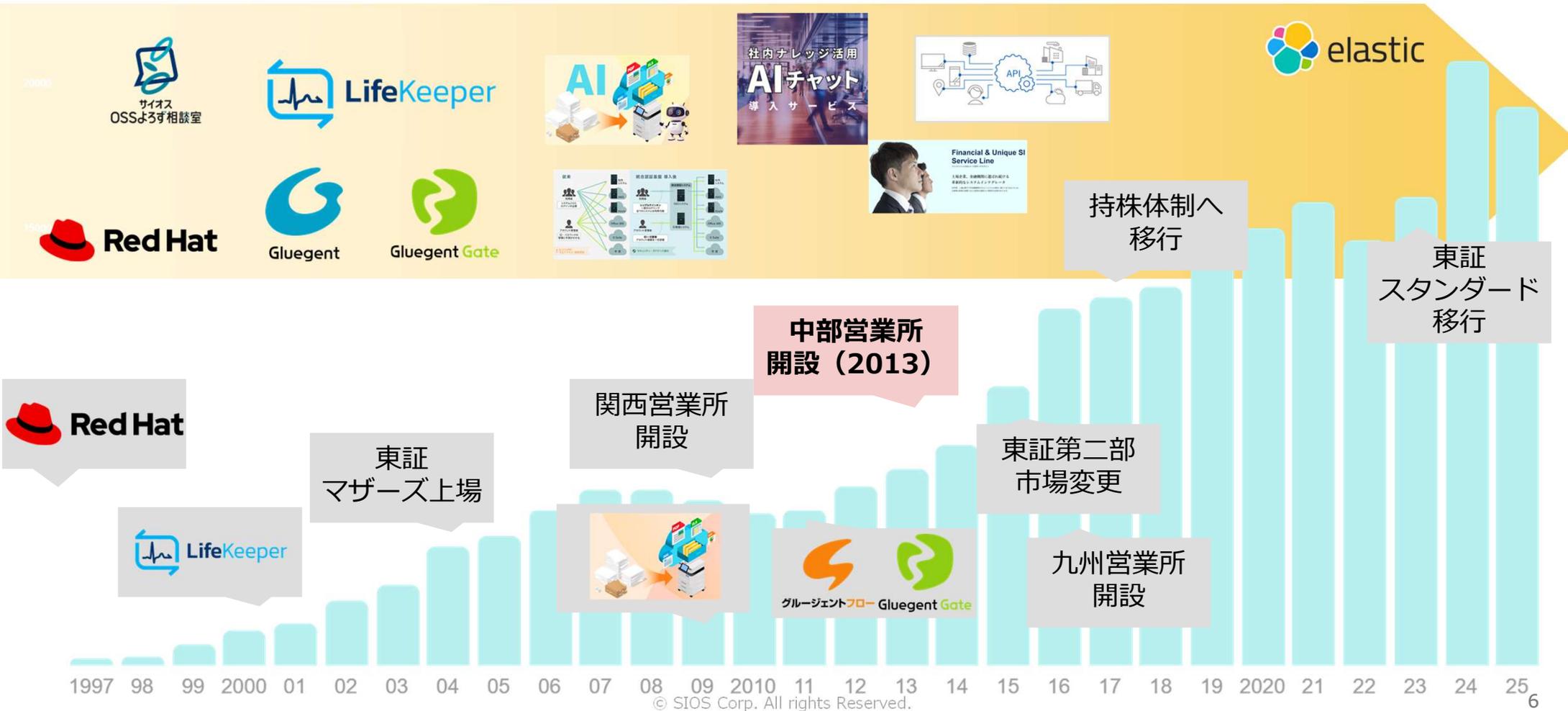
※OS : Operating Systemの略でコンピューターを動かすための基本となるソフトウェアのこと

© SIOS Corp. All rights Reserved.



サイオスの成長の歩み

オープンソースソフトウェアをDNAとし今では幅広い事業を展開、2026年創業29年を迎えています



様々な業界で使われるサイオスの製品



流通



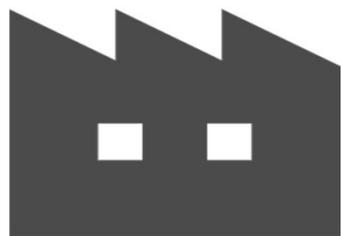
金融



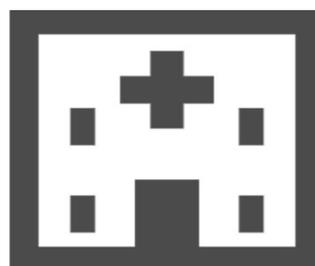
学校



製造



病院



自動車



1.会社紹介

2.成長を支える源泉・製品紹介

3.2025年業績・2026年業績予想

4.中期経営計画について（数値目標）

5.最後に

成長を支える源泉

成長を支える源泉



高い技術力 & 収益力と成長を両立する事業戦略

技術力

企業風土

オープンソースソフトウェアの
スペシャリスト集団

AIをはじめとする先端・先進技術

事業戦略

デジタル社会を支える製品群

ストック型ビジネスモデル

強力な販売網

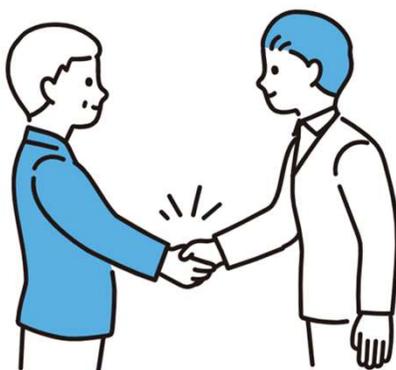
挑戦的で革新的な技術力を育む企業風土 SIOS

サイオスにはオープンソースソフトウェアがもつ「オープンで自由な発想」「革新的」という強みがDNAとして企業風土に根付いています



活発な情報発信
(SIOS Tech Lab)

部や課のない
フラットな組織構成
自律的な働き方の推奨



© SIOS Corp. All rights Reserved.



社外からの評価

確かな収益基盤と成長を両立する事業戦略 SIOS

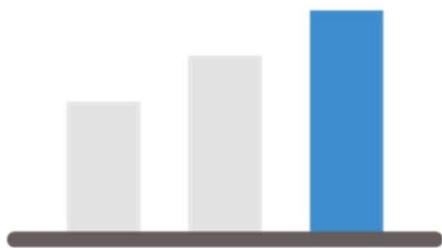
※「※」を付した用語については43頁に注釈を記載

デジタル社会を支える製品群

- 流行り廃りのない*業務インフラ領域に近いソフトウェア
- 一度導入されると、長期的に利用される切り替えの少ない領域

ストック型ビジネスモデル

例：毎月の月謝のようなもの
一度契約を結ぶと、解約されない限り
一定期間ごとに繰り返し発生する収益モデル



強力な販売網



約130社
パートナー企業

※P35に一部パートナー掲載しております



全国の
お客様



オープンソースソフトウェアとAIで未来を創る サイオスの主な製品群ご紹介

- **オープンソースソフトウェア関連製品・サービス**
 - ◇OSSよろず相談室
 - ◇LifeKeeper
 - ◇グルージェントゲート
- **AI機能強化製品・AI関連サービス**
 - ◇グルージェントフロー
 - ◇生成AI導入支援

オープンソースソフトウェア関連製品・サービス



オープンソースソフトウェアの専門技術サポート窓口

課題

- 自由に使える反面、使いこなすのが難しい
- ソフトウェアの多くが「サポート」機能がないため、トラブル発生時の対応に不安がある



解決

- OSSのスペシャリストが活用から障害対応まで支援
- 常にお客様に寄り添ったサポートを実施

オープンソースソフトウェアを安心して活用できる



トヨタ自動車株式会社様 | 10年以上安定生産を支援 他社にない徹底したサポート

他社のサポートサービスでは、『最新バージョンに上げてください』で済まされてしまいます
サイオスさんは、我々の事情を理解した上で、問題の箇所をしっかりと突き詰めていただいています



トヨタ自動車ご担当者様

導入事例URL : <https://oss-yorozu.sios.jp/showcase/#toyota>

システム障害対策ソフトウェア

課題

システム障害による損失の発生
(復旧対応のための負荷・売上・業務の機会損失)



解決

- 24時間365日、システムを監視
- トラブル時は自動で待機系に瞬時に切替
- システム停止時間を圧倒的に短く、機会損失を防ぐ

オープンソースソフトウェアのOSであるLinuxを使用した
情報システムの障害復旧用のソフトウェアとして開発



今では・・・

行政/金融/医療などシステムを

止められない領域で高く評価

サポート
満足度

99%

導入実績 9万ライセンス

LifeKeeper

製品動画をご覧ください

株式会社クレディセゾン様 | システムの安全稼働を担保

信頼できるシステムと実感



24時間365日稼働しているシステムにLifeKeeperを採用したことでシステムが止まることなく安全に稼働して運用ができていますので、製品選定も含めてうまくいったと感じています



クレディセゾンご担当者様

導入紹介URL:https://bccs.sios.jp/customers/credit_saison.html

安全と利便性を両立したセキュリティシステム

課題

- システムが増えすぎて、アカウント管理が大変
- セキュリティのリスク
(セキュリティ水準がバラバラ、なりすまし不正アクセス)



サイオスならではの視点
システムの基盤に多くの
オープンソースソフトウ
ェアが活用されている

解決

- 製品ひとつで社内システムをまとめてアカウント管理
- 多様な*認証方式を組み合わせ、不正アクセスから守る

管理の手間は半分に、セキュリティレベルは最大化



Gluegent Gate

導入事例



株式会社熊谷組様 | ※クラウドファーストを安全・快適に実現

業務効率化のパートナー



セキュリティを高めつつ、複数システムへのログインが容易にできるグルージェントゲートは業務効率化推進の必須なツールです

今後も新機能をフォローしながら、最大限に活用していきたいです



熊谷組ご担当者様

AI機能強化製品・AI関連サービス





申請・承認業務効率化システム

課題

- 上司の承認待ちによる業務時間のロス
- 紙書類の保管にかかる手間
- 紛失・確認漏れのリスク

サイオスならではの視点
システムの基盤に多くの
オープンソースソフトウ
ェアが活用されている



解決

- 紙書類からの脱却で、保管・紛失リスクを削減
- PC・スマホから、いつでもどこでも申請・承認
- AI活用により、業務処理をスピードアップ

お客様契約継続率**99%超**～長く使っていただけるシステム～



AI機能ご紹介：ユーザーアシスト機能



<イメージ図>

ユーザーの「使いやすさ」を追求したAI

物品購入申請	
申請番号	20250210-00001
申請日	2025/02/10
社員番号	490409
所属	クラウド開発部
氏名	松本明文
種別	ハード
商品名	Hypermicro PRS-999GL-DNHR-LCC
購入先	転座
購入理由	AIサービスの研究開発において、最先端の技術を効率的に取り入れ、競争力を高めるためには、開発および検証の各フェーズで十分な計算能力が求められます。特に、市場の動向に先んじてサービスを迅速に提供し続けるためには、必要ときに必要なだけ計算リソースを確保できる環境が不可欠です。そのため、計算速度が十分に確保された高性能な機器が提供される計算リソースを、制約なく柔軟に活用できる仕組みを整備することが重要となります。 さらに、ハードウェア技術の進化は非常に速く、新しく高度な機器やハードウェアが短いサイクルで次々とリリースされています。こうした状況下では、最新の計算機資源をいち早く取り入れることが競争優位の維持に直結します。従来の購入モデルでは短期間で陳腐化するリスクが高いため、これらの機器をリース契約とし、短いスパンでより新しい機器への入れ替えが容易にできるようにしておくべきです。これにより、常に最新のハードウェア環境を維持しつつ、研究開発を加速させることが可能になります。
単価	300,000円
数量	3
合計金額	900,000円
請求書	
請求書(ドライブ)	

長い文章の要点を
まとめ



グルージェントフロー

物品購入申請（電子帳簿保存） [20250210-00001]

- ・ AI開発で利用のため、高機能パソコンの購入希望
- ・ 単価：30万円 数量：1

※要約画面はイメージです。



毎月大量の申請確認の手間が省け、時短に繋がった

利用ユーザーの声



AI機能の開発戦略

AIエージェント的アプローチによる高付加価値機能の提供

グルーエージェントフロー
現行AI機能

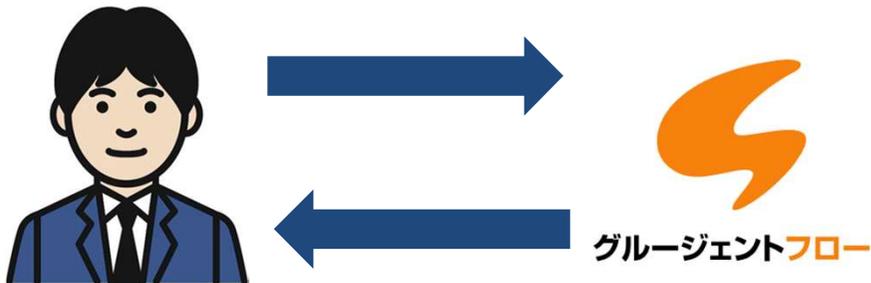
グルーエージェントフロー
2026 開発戦略

問い合わせに対する最適解の提案機能

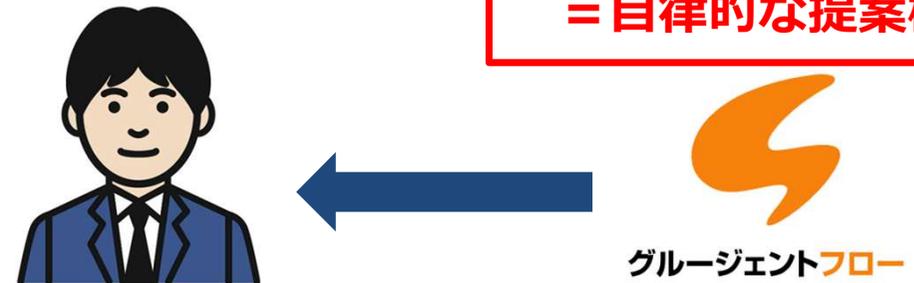
※AIエージェントによる自律的な提案機能

ユーザーアシスト機能
= 受動的な便利機能

進化した
ユーザーアシスト機能
= 自律的な提案機能



- タスク要約機能 (25Pご参照)
- スマートモデル検索
- スクリプト自動生成



各ユーザーに最適なワークフローの提示

- 過去の傾向を参照し、必要な情報を先回りして取得、加工して提示



生成AI導入支援サービス



課題

- AIを活用したいが、何から始めるべきか分からない
- 導入方法に不安がある



SIOS NEXT TECH SOLUTIONS



Azure(Microsoft Azure)
Microsoft社が提供しているクラウドサービスです

解決

導入検証のスタートから安定運用まで
プロフェッショナルエンジニアが一貫して徹底サポート

まとめ：成長を支える源泉と製品群



技術力

● オープンソースソフトウェアを効果的に活用した自社製品開発

- システム基盤にオープンソースソフトウェアを多く活用した競争優位性の強化

● AI開発への投資

- 自社製品：生成AI活用からAIエージェント的な開発アプローチへ
- 顧客のAI活用をワンストップで支援

事業戦略

● デジタル社会を支える製品群

- 障害対策ソフトウェア
- OSS利用のサポート窓口
- 申請・承認業務効率化ソフトウェア
- セキュリティシステム

● スtock型のビジネスモデル

- 基本の月額料金と高付加価値オプション料金・従量課金による積上げ

● 130社を超えるパートナー企業網



1.会社紹介

2.成長を支える源泉・製品紹介

3.2025年業績・2026年業績予想

4.中期経営計画について（数値目標）

5.最後に

2025年12月期 業績 (連結)



(単位：百万円)

	2024年12月期	2025年12月期
売上高	20,561	19,059
売上総利益	5,330	5,292
営業利益	35	401
経常利益	189	497
親会社株主に帰属 する当期純利益	351	320
EBITDA※	87	460
ROIC※(年率換算)	1.5%	14.2%

※2024年12月期の大型案件、事業譲渡の反動により減収

経常利益：過去最高益

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額
※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)

2026年12月期 通期業績（連結）予想

(単位：百万円)

	2025年12月期 実績	2026年12月期 業績予想
売上高	19,059	20,000
営業利益	401	450
経常利益	497	510
親会社株主に帰属 する当期純利益	320	370
EBITDA※	460	540
ROIC※	14.2%	13.4%

**経常利益：過去最高益
更新見込み**

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額
※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)

企業理念の推進

世界中の人々のために、不可能を可能に。

中長期的企業価値向上 & 持続的な成長に向けて

ビジネス
モデル

ストック型ビジネスモデルへの継続投資

技術

AIとオープンソースソフトウェアによる事業強化

ストック型ビジネスモデルへの継続投資 SIOS

ビジネスモデル

ストック型ビジネスモデル売上高比率を向上させ、収益力を強化する

ストック型
ビジネスモデル
製品比率の拡大

買い切り型ライセンス製品のストック型販売形態への
移行により、収益基盤を強化

契約数増による
ストック売上の伸長

ストック型販売製品の新規契約獲得と
高付加価値品販売による単価増

主力製品のストック型ビジネスモデル提供の強化

LifeKeeper



- バージョン10をリリース、買い切り型ライセンスに加え、1年単位のストック型販売モデルもリリース
- より分かりやすく、より使いやすくを追及

契約数増によるストック売上の伸長

グルージェントシリーズのパートナー販売を強化、
新規契約獲得を推進し更なる成長を目指す



セールスパートナー



株式会社大塚商会 



株式会社PFU 



ソフトバンク株式会社 



SB C&S株式会社 



ダイワボウ情報システム株式会社 



株式会社電算システム 



LRM株式会社 



株式会社アイエスエフネット 



株式会社ネットランド 



三菱電機デジタルイノベーション株式会社 

AIとオープンソースソフトウェアによる事業強化 SIOS

技術

生成AI活用・AIエージェント的アプローチによる事業強化

自社製品へのAI機能搭載を継続開発

顧客のAI活用支援

AI活用による開発工数の大幅な圧縮

1.会社紹介

2.成長を支える源泉・製品紹介

3.2025年業績・2026年業績予想

4.中期経営計画について（数値目標）

5.最後に

2026年 中期経営計画

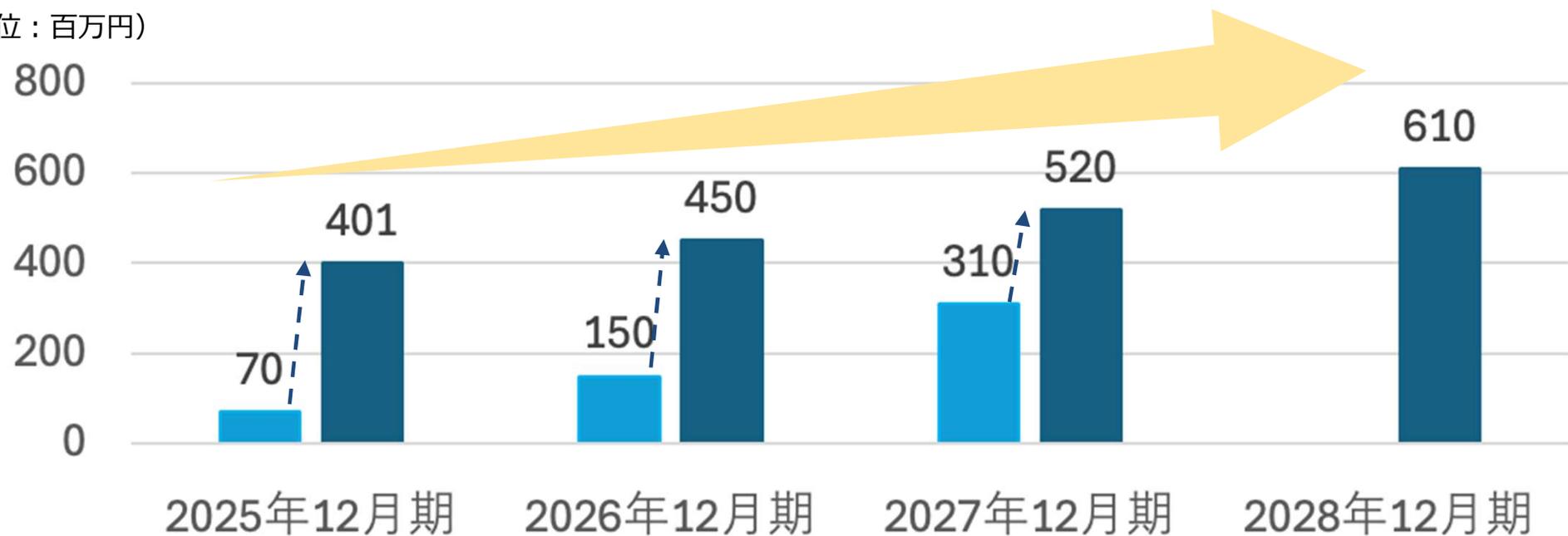
- **ストック型ビジネスモデル強化により継続的な成長を計画**
- **株主還元**においては2026年12月期配当は5円を計画
- 2027年12月期以降は**連結配当性向30%以上**を目標

(単位：百万円)	2025年12月期	2026年12月期	2027年12月期	2028年12月期
売上高	19,059	20,000	21,000	22,000
営業利益	401	450	520	610
EBITDA	460	540	610	700
ROIC	14.2%	13.4%	13.2%	13.5%
配当	0円	5円	連結配当性向30%以上目標	

営業利益計画の前期比較

中期経営計画の営業利益計画を大幅積み増し

(単位：百万円)



■ 2025年策定中期計画

■ 2026年策定中期計画 (2025年12月期は実績)

株主優待

株主の皆様の日頃よりのご支援に対する感謝を表すとともに、
当社株式への投資、中長期的な保有をしていただける株主様の増加を
図ることを目的として、株主優待を導入しております

基準日	保有株式数	優待内容
12月末日	200株以上	2,000円相当のカタログギフト（食品）

1.会社紹介

2.成長を支える源泉・製品紹介

3.2025年業績・2026年業績予想

4.中期経営計画について（数値目標）

5.最後に

オープンソースソフトウェアと生成AIで不可能を可能にし、より良い社会の実現に貢献してまいります

私たちは社員と共に**成長**し、**成長の成果**を株主の皆様へしっかりと**還元**いたします



創造性あふれる社会

テクノロジーが持つ無限の可能性により、人々をよりクリエイティブに。



心豊かな社会

楽しく学び、自分らしく働ける機会を。不安や心配をなくして心と体に健康を。



持続可能な社会

安全で安心できる暮らしを。
効率的で賢い資源の利用を。
生き生きとした地域社会の創生を。



SIOS is Innovative Open Solutions

Appendix

用語集

頁	用語	説明
12	業務インフラ	企業が日常業務を円滑に実施するために必要不可欠な「基盤」や「仕組み」の総称
17	稼働系システム・待機系システム	稼働系システム：通常時にサービスを提供する「メイン」システム 待機系システム：メインが故障した際に稼働系と入れ替わる「サブ」システム
21	認証方式	システムやサービスを利用しようとする者が、「確かに本人であるか」を確認するための技術や手順
22	クラウドファースト	システムの導入・更新時に、自社サーバー（オンプレミス）より先に「クラウド利用」を最優先で検討する指針
26	AIエージェント	単発のタスク処理にとどまらず、複数の業務プロセスを連携させ一連の仕事を完遂できるAI技術

SIOS is Innovative Open Solutions

本社 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

資本金 1,481百万円

設立 1997年5月23日

市場 東証スタンダード（証券コード：3744）

社員数 連結489名（2025年12月31日現在）

主な連結
子会社 サイオステクノロジー（株）
サンディブルー（株）
SIOS Technology Corp. <米国>

IRサイト <https://www.sios.com/ja/ir/>

サイオスは、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェアを活用したシステムインテグレーションを原点とし、ソフトウェア製品及びSaaSを提供するテクノロジー企業群を子会社とする持株会社です。

「世界中の人々のために、不可能を可能に。」をグループミッションに、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献してまいります。

詳細情報は、<https://www.sios.com> をご覧ください。

ご留意事項



業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。

但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本資料で使用される商標、ロゴ、商号に関する権利は、弊社またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。

本件に関するお問い合わせ

サイオス株式会社 IR担当

Tel : 03-6401-5125 (直通)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

https://mk.sios.com/SIOS_Inquiry.html